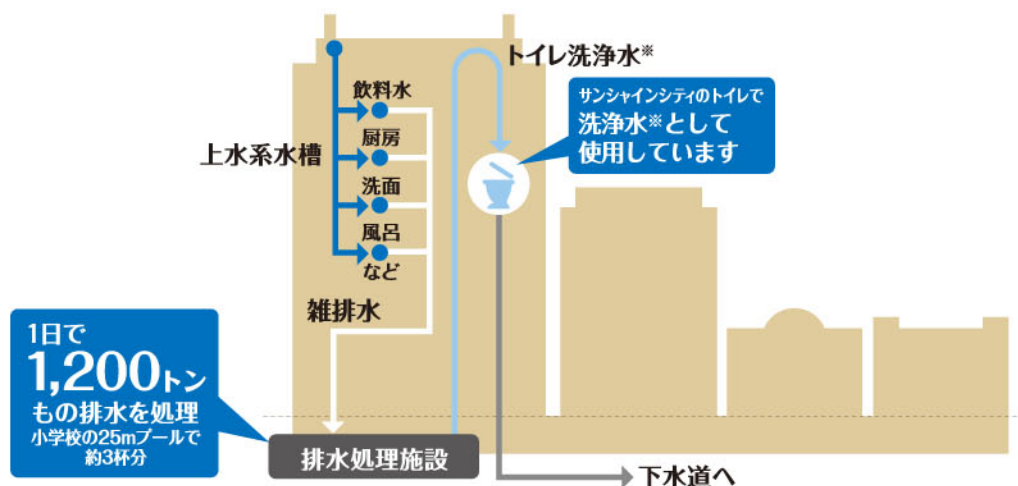


サンシャインシティのCSR活動

循環型社会実現への取組み

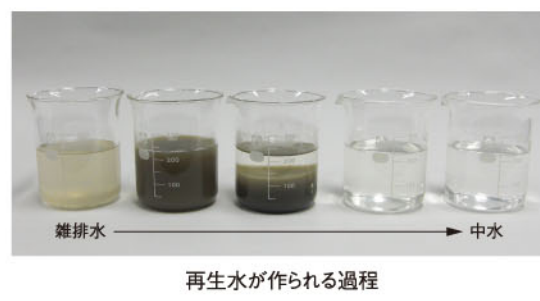
1 限られた水資源を32万トン有効再利用し、さらに水道使用量を1.8%節減

サンシャインシティでは、2008年度は32万トンもの貴重な水資源を再生しました。館内の雑排水は再処理してトイレの洗浄水*に使用し、さらに手洗い器の自動水栓化を進め、水道水の使用量も前年度比で1.8%節減しました。



この雑排水の再生システムは上下水道の中間の「中水道」と呼ばれますが、サンシャインシティでは、建設当初から導入しています。単独ビル用としては日本で初めての中水道システムで、その先進性が話題になりました。この中水道プラントは、サンシャイン60ビルの地下3階にあり、トイレの手洗いや、ビル内で発生した厨房排水、ホテルの浴室などの排水を1日最大約1,200トン浄化しており、再生された「中水」はビル内のトイレの洗浄水*に使用されています。

*温水洗浄便座の洗浄水を除く。



2 廃棄物総量を5.5%削減

サンシャインシティでは廃棄物の総量を減らすため、紙の節約などに努めており、2008年度の総量(ホテルを除く)は4,302トンで前年度比で5.5%にあたる251トンの廃棄物を減らしました。

3 総リサイクル率は63.8%

リサイクル、リユースが可能な廃棄物は15分類の分別を行い、資源の有効活用を図っています。一般のお客様やテナントの皆様のご協力を得るため、分別ゴミ箱の整備や分別ステーションの配置と並行してポスターやハンドブックでの広報などにより、投棄時点からの分別回収を進めました。この結果、2008年度は、総リサイクル率が63.8%に達しました。また館内のトイレトーパーは、館内で回収した紙くず(上質な紙には再生できない紙)からの再生でまかっています。

